



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

印刷



タイトル「2020年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	問題探究セミナー I		
担当教員	岩井 秀樹		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:H
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
備考			
特修プログラム		ナンバリング	g3310010
教育目標との関係 (DPポイント配分)	基盤教育 基盤教育	最新の専門知識及び技術	20 %
		本質を見極めるための教養と学際性	20 %
		協働的な問題探究	30 %
		社会の改善につなげる創造性	20 %
		市民としての主体的態度	10 %
授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 発表 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> ICT機器の活用		
授業概要とねらい	この科目は、学習集団の中での協働的な活動を通して、高校と大学の学び方の違いを理解するとともに(学びの質的転換)、大学という学習環境の活用方法や、アカデミック・ライティング、プレゼンテーション等の基本的・汎用的アカデミック・スキルズを身につけることを目的としています。		
単位認定基準	a.世界・日本・福島及び地域の抱える問題に対する基本的な理解を深める b.文献購読や資料の収集、フィールドワークなどを用いた調査方法を身につける c.個人やグループにおいて問題の整理や探究、解決のスキルを活用することができる d.自らの専門分野からのアプローチの基本的方法を知り、主体的に問題をとらえることができる e.自分の調査結果・意見を簡潔に伝えることができる		
授業計画	1.オリエンテーション 2.ソーシャル・イノベーション 解説 3.ソーシャル・イノベーション 事例 4.社会課題情報収集 5.社会課題情報整理 6.フィールドワーク計画 7.フィールドワーク準備(1) 8.フィールドワーク準備(2) 9.フィールドワーク(1) 10.フィールドワーク(2) 11.フィールドワーク結果整理 12.アイデア出し 13.プレゼンテーション準備 14.プレゼンテーション(1) 15.プレゼンテーション (2)		
教材・教科書	必要に応じて都度、資料を配布する		
参考図書			
参考URL			
授業以外の学習	講義内容に対して数回、課題を課す		
成績評価の方法	a.世界・日本・福島・地域などの問題の理解(20%) b.問題探究のプレゼンテーションの形式・内容(60%) c.問題探究のためのディスカッションへの参加・貢献(20%)		

成績評価の基準	S:単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた(点数にした場合は90点以上) A:単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた(80点～89点) B:単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた(70点～79点) C:単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた(60点～69点) F:単位認定基準の学修成果をあげられなかった(59点以下)
オフィスアワー	毎授業終了後に適宜、質問・相談してください。
授業改善・工夫	グループワークを増やすことで受講生の主体性の発揮を促す
留意点・注意事項	
教員の実務経験の有無	



Copyright (c) 2004-2011 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.